

Emerald

SINCE 2023

心・磨穿鉄硯・夢

東京都町田市立薬師中学校

第3学年 学年通信

2025年7月3日(木)

Vol.15

※学年だよりで使用されている写真や作品の SNS 等への掲載はご遠慮ください。

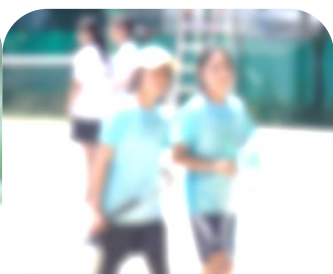
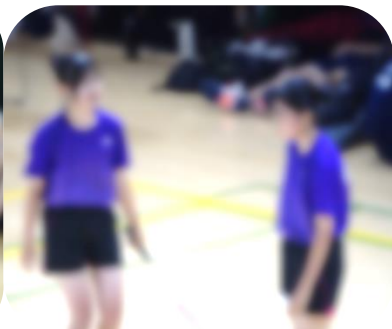
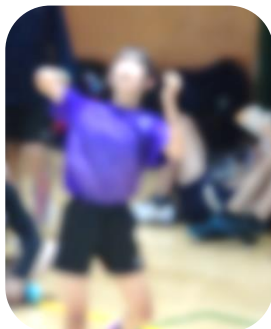


最後の夏

5月の中旬から、多くの部活動で最後の大会が開催されました。私もエメラルドたちの輝く姿を見るために、できる限り会場に足を運ばせてもらいました。“最後”という緊張感と“勝ちたい”という熱い思いを感じることができました。

右も左もわからなかった2年前の入部から、技術だけでなくたくさんのことを学びました。「あいさつや礼儀」「人との関わり方」「感情のコントロール」「先輩・後輩のつながり」など、この先の人生においても必ず皆さんの力になってくれるでしょう。

現役として引退が決まった人も次の大会に勝ち進んだ人も、熱心に指導してくれた顧問の先生やコーチ、いつも陰で支えてくれた家族、最後まで応援してくれた仲間や先輩・後輩に感謝の気持ちを忘れずに、次のゴールに向かって突き進んでください。



作文紹介

体育祭

体育祭実行委員

体育祭実行委員長として迎えた、中学校最後の体育祭の思い出を話します。

まず一つ目は、『2週間の練習』です。僕たちは、体育祭のためにたくさん練習を重ねました。大縄は昼休みや学級練習などでたくさん練習しました。上手く跳べたときも改善点を探して、もっと回数を増やすために順番を変えたり、声掛けをしたりしました。そして、本番で300回跳ぶことができました。ムカデでは、一部の人しか声が出ていなくて、息が合わずに転ぶことがとても多かった種目です。そのため、悪かったところや良かったところを全員で話し合っ、話し合いが終わったら「みんながんばろー!!」と気持ちを切り替えていました。その雰囲気でもとても良かったです。しかし、進んでいる途中で足が前に出なかったり、声を出せなかったり、空気が悪くなることもありました。僕は、それを収めないとせっかくの体育祭が嫌な思い出になってしまうと思い、クラスの雰囲気を盛り上げるように意識しました。正直、練習の序盤は転んで痛くて大変だったけど、やっていくうちに楽しくなっていました。本番で負けてしまったことは悔しかったですが、クラスのみんなが最後まで諦めなかったことが一番嬉しかったです。

二つ目は、『実行委員長』という仕事です。僕は全体をまとめることや行進の笛など、自分のやっていることがうまくできず、「自分が体育祭実行委員長でいいのか……」と不安でいっぱいでした。実際、全体練習では笛がうまく吹けないことがありました。しかし、自分で決めたことなのでやることはちゃんとやらないといけなと思い、最後まで頑張りました。体育祭が終わった今も、人をまとめることはうまくないけど、それですぐ諦めてしまうのではなく、できるまで頑張っていることがとても大切だと実感しました。僕は、「できない!」と思うと、やる気がなくなり、すぐ辞めてしまう性格でした。しかし、今回の体育祭で実行委員長を経験させてもらったおかげで、苦手なことにも少しずつ向き合えるようになった気がします。最後の体育祭は、思い出とともに学んだことがたくさんありました。とても良い体育祭になったと思います。



音楽祭実行委員

2学期の音楽祭に向けて、音楽祭実行委員が決まりました。体育祭からの最高のバトンパスを受けて、素敵な音楽祭を作っていくてください。

1組	Aさん	Bさん
2組	Aさん	Bさん
3組	Aさん	Bさん